

# 紙一枚で好き勝手にされてたまるか!

## いよいよ反撃の開始だ! スト権確立で当局をおいつめろ



87. 8. 18

No. 2631

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)  
(鉄電)二九三五六(公衆)〇四七二(22)七二〇七

### 動労千葉の闘いが全国に波紋広げる

強制出向攻撃粉砕へ向けた闘いが、いよいよ開始された。スト権一票投票は、でたらめな首切り出向攻撃を強行しようとする当局へのわれわれの回答である。労働者が、まるで人身売買のように、紙一枚で好き勝手に売りとばされてたまるものか! 労働者が、「企業内失業者だ」「温室の者は木枯しや酷暑のなかで意識改革しろ」と口汚くののしられて、奴隷のように唯々諾々と従うと思つたら大間違ひである。われわれは、生きるためにたとえ労働力は売つたとしても魂まで売り渡すつもりはない。

#### 醜い事のみうずまぐ「新会社」

何が「企業内失業者」だ! 言語道断の首切り攻撃や清算事業団送りによつて、法で定められた定員にも満ちていないのが現在のJRの実態ではないか。何が「意識改革」だ! 自由であるべき人間の意識や思想まで、悪質企業の金もうけのためにくだらない型にはめ、おし潰す権利がどこにあるというのか。何が「温室の者」だ! 前代に類例のない首切り攻撃のなかで、どれだけの方が苦しめられ、傷つき、自殺にまでおいこまれたとか。

こんなことはもうたくさんだ。われわれは、もうこれ以上こんなことを一日たりと許すことにはできない。

美辞麗句の下に隠れたJR当局の姿を少しでも見てみるがいい。ロボットのような上意下達、少しでも意にそわぬ者は、その人間としての人格すら認めぬ人間蔑視、権力をふりまわす官僚主義、ゴマシリの横行、私利私欲、労働組合敵視、差別選別、利権、いじめ……、およそこの世の醜い事のみうずまぐ世界ではないか。

堂々と胸をはって生きるために  
反撃に起つ

ふり返って見れば、分割・民営化攻撃の開始以来

来、当局がやってきたことは、処分・弾圧だ、差別選別するぞ、首切りだ、業務命令だ、5%カットだ、強制配転だ、強制出向だ、と一切がつさいの事をおどしと恫喝、見せしめによつて従わせてきただけなのだ。

ただの一つでも襟を正して道理をつくしたことがあつただろうか。当局は、たしかにこの強権支配によつて、動労革マルのような手先をつくりだすことには成功したかも知れない。しかし、圧倒的な労働者は怒りを内に秘め、あるいは胸をはって生きる道を選んだのだ。

われわれは、強制出向という新たな首切り攻撃を前にして、堂々と胸をはって生きるために、そして、われわれの命である仲間を守り団結を守るために、いよいよ反撃に起つことを決意した。

#### 全国に波紋ひろがる

この闘いの決断は、全国に波紋をひろげ、東京では、分会から指名ストライキの要求が国労本部に出され、千葉でも、抗議集会開催の要求が出されている。当局は、九月一日の第四次発令を見送らざるを得なくなっている。

いよいよ反撃の第一歩のはじまりである。スト権一票投票の成功をかちとり、当局をおいつめよう。首切り強制出向を粉砕しよう。

八月二二日(金)  
封切り上映会へ

千葉市民会館  
小ホール  
18時

闘いぬき生きぬく動労千葉の姿をみます  
ところなく納めた「俺たちは鉄路に生き  
る」第三報上映会へ全力結集しよう。

